

御所南だより 9月特別号 特集 学校評価

令和 7年 9月 18日
京都市立御所南小学校
校長 鈴木 登美代

御所南小学校では、学校評価の大切な指標として、保護者・児童・教職員アンケートを実施しています。今回は7月に実施しましたアンケート結果をお知らせします。保護者の皆様、お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。

学校教育目標 未来に夢が広がる地域の学校

「感じる つながる 自分から」

「ありがとう」あふれる御所南の子ども ～ちがうってすてき ちがうっておもしろい～

児童 A=そう思う B=大体そう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない 保護者 教職員 A=出来ている B=大体出来ている C=あまり出来ていない D=出来ていない

評価内容（児童）					評価内容（教職員）				
実現度（％）					実現度（％）				
A	B	C	D		A	B	C	D	
1	57.4	37.1	5.4	0.1	1	38.9	58.3	2.8	0.0
2	58.3	35.6	4.6	1.5	2	30.6	66.6	2.8	0.0
3	50.1	36.6	11.7	1.6	3	38.9	58.3	2.8	0.0
4	58.5	35.0	6.4	0.1	4	27.8	69.4	2.8	0.0
5	63.6	30.5	5.8	0.1	5	33.3	63.9	2.8	0.0
6	78.7	16.7	3.2	1.4	6	44.4	55.6	0.0	0.0
7	64.2	26.4	6.4	3.0	7	58.3	36.1	5.6	0.0
8	62.6	27.4	6.5	3.5	8	47.2	52.8	0.0	0.0
9	53.2	35.1	9.0	2.7	9	77.8	19.4	2.8	0.0
10	79.9	18.8	1.2	0.1	10	61.1	38.9	0.0	0.0
11	59.4	36.3	4.2	0.1	11	66.7	33.3	0.0	0.0
12	59.0	27.4	9.0	4.6	12	55.6	44.4	0.0	0.0
13	63.0	29.9	4.3	2.8	13	66.7	33.3	0.0	0.0
14	69.4	26.9	2.7	1.0	14	47.2	52.8	0.0	0.0
15	66.5	19.7	8.2	5.6	15	41.7	52.7	5.6	0.0
16	66.2	19.8	9.4	4.6	16	28.6	65.7	5.7	0.0
17	74.7	23.4	1.8	0.1	17	71.4	28.6	0.0	0.0
18	69.7	19.7	5.8	4.8	18	25.0	72.2	0.0	2.8
19	77.5	19.1	2.0	1.4	19	28.6	57.1	14.3	0.0
20	77.5	17.8	2.0	2.7	20	28.6	65.6	2.9	2.9
評価内容（保護者）					重要性（％）				
					実現度（％）				
					A	B	C	D	
1	87.4	12.5	0.1	0.0	12.5	57.1	26.9	3.5	
2	70.5	28.2	1.2	0.1	24.7	63.7	10.4	1.2	
3	82.1	17.8	0.1	0.0	27.0	64.2	7.8	1.0	
4	79.8	20.1	0.1	0.0	12.5	55.6	30.1	1.8	
5	86.4	13.5	0.1	0.0	11.3	56.2	29.5	3.0	
6	92.1	7.9	0.0	0.0	43.2	49.0	6.7	1.1	
7	81.2	17.8	1.0	0.0	36.6	54.6	7.8	1.0	
8	85.3	14.6	0.1	0.0	33.0	55.2	10.0	1.8	
9	87.3	12.5	0.1	0.1	34.4	39.5	22.9	3.2	
10	92.2	6.8	1.0	0.0	80.8	15.5	3.7	0.0	
11	87.0	12.9	0.1	0.0	37.9	40.3	20.3	1.5	
12	86.0	13.7	0.3	0.0	32.7	33.5	28.9	4.9	
13	96.9	3.1	0.0	0.0	46.1	49.1	4.7	0.1	
14	59.6	29.3	9.3	1.8	16.4	48.5	29.4	5.7	
15	47.6	30.8	16.4	5.2	22.4	52.4	20.6	4.6	
16	52.4	38.9	7.7	1.0	25.6	55.8	15.4	3.2	

本年度も学校教育目標から目指す子ども像を具体的にもち、教職員全員で常に意識しながら教育活動をすすめています。目指す子ども像は、「かがやき」かんがえぬく子・がんばりとおす子・やさしさあふれる子・きたえつづける子でした。昨年度の学校評価【後期】から「40分授業」「幼保小連携」「ハカセの時間」に関するアンケート項目を追加しています。

【アンケート結果】

全体的に昨年度と比べて殆どの項目で大きな変化はありませんでした。児童はほぼ肯定的な結果であったとみています。児童アンケートでは⑨「幼保小連携」⑩「ハカセの時間」に関わる項目が昨年度と比較して5%程度上がっています。これまでの取組を通して、子どもたちの主体性や好奇心を育むことにつながってきているのではないかと感じています。同じ項目の教職員の結果からは、まだまだ工夫の余地があるということが考えられます。今後も取組の充実に向けて教職員で検討していきます。また、項目の①②⑤の「主体性」や「粘り強さ」に関わる項目も昨年度から引き続き実現度が高いという結果が得られています。特に⑦「本物に出会う経験を通して、子どもが意欲的に学習できるよう指導の工夫を行うこと」については昨年度より実現度が上がっています。「生活科」や「かがやき」の学習などで、地域の方や学習テーマに詳しい専門家の方から学ぶ機会の重要性を再確認することができました。今後も「本物に出会う経験」を大切にして子どもたちの学びを高めていきます。

課題点としては、③「相手の意見を聞き、質問したり意見を述べたりすることができずか」の項目が昨年度に引き続き、「あまりそう思わない」と回答した子どもの割合が1割を超えている点です。今後も教員研修などを通して、子どもたちによりよく力をつけていけるよう、目指す子ども像についての更なる共有をするとともに、授業改善を図っていきます。生活面の評価項目では、「あまりできていない」項目をみると昨年度よりは改善傾向にはありますが、⑨「早寝早起き」⑩「読書」の項目で「あまりできていない」の割合が高くなっています。引き続き「委員会活動の取組の充実」「読書に関わる取組の充実と周知」などを中心に据えて取り組むとともに、引き続き教職員の意識も高めていきます。⑪「スポーツ」におきましては、体づくりを意識した取組をしてきた結果、昨年度よりも「あまりできていない」が減少の傾向にあります。今後も取組の充実を図っていきます。また、全体的に「重要性」と「実現度」の数値にギャップがあり、非常に重視しているにもかかわらず、実現度Aが低い項目は、家庭・学校・地域での連携強化や支援の重点領域として検討していきます。また、説明や共有の工夫もしていきます。「ハカセの時間」では地域の方や保護者への参観も予定しております。今後も家庭と学校で連携を図りながら、目指す子どもの姿を共有し、2学期からの教育活動にしっかりとつなげていきたいと思っています。

【学校運営協議会でのご意見】

- ・ゲストティーチャーとして授業に参加した際、子どもたちは自分の言葉で話をしていた。アウトプットの力がすごいと感じた。
- ・ハカセの時間で子どもたちが何をテーマに取り組んでいるのを知りたい。どんどんラインナップなど、知らせてもらえたら。
- ・全体的に子どもの評価が高いことから、校内の雰囲気もよさが伺える。